

平成20年度事業報告

平成20年度も「国際化の主役は市民である」という設立以来の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生を活動の柱として、地域の国際化を推進してまいりました。

年度の前半は、当初の事業計画に基づいて事業を開催してまいりました。特に、日本人のブラジル移住100周年を記念して開催した「ビバ！ブラジルデー！」では事業終了後ブラジル人参加者による自助組織づくりに発展するとともに、「若者ブラジル探索の旅」に参加した若者たちがブラジル人学校への支援活動を行うなど、多文化共生社会の実現に向けて新たな一歩を踏み出すことができました。また、T I A設立20周年記念事業や小学生国際理解教育学校招待プログラム等の新規事業は市民の皆様に国際理解や国際協力について改めて考えていただく機会となりました。こうした取組の結果、とよたグローバルスクエアの利用者は年間35,000人（前年比40%増）と大きく増加しました。

年度の後半は、経済環境が急速に悪化する中、国、県、市とともに就職のための日本語教室や、外国人相談窓口の増設等の事業に急遽取り組むことになりましたが、多くのボランティアの皆様にご参加いただき、無事開催することができました。当面の間こうした厳しい環境が続くと予測されていますが、これからも弛まず、地道に、地域の国際化の推進に努力を続けてまいります。

1 交流事業

(1) 国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深めた。

ア アメリカ・ウエイン州立大学（デトロイト）

時 期 平成20年6月26日～7月3日

受入人数 6人

イ 桜花学園大学留学生（韓国）

時 期 平成20年11月15日～16日

受入人数 6人

(2) おいでんまつり参加

まつりの形態が変わり、参加者も少なくなったため、T I Aの取りまとめで参加することを平成20年度から中止し、ボランティアグループが中心となり参加した。

(3) International Educators to Japan (I E J) プログラム

海外進出日系企業の駐在員子弟を受け入れている現地公立学校の教師を日本に招待し、特に豊田市と姉妹都市である米国デトロイトなどからの教師を受け入れ、ホームステイ、市内の学校訪問を実施した。

時 期 平成20年6月26日～28日
受入人数 17人

(4) 日本ブラジル交流年記念事業 in とよた実行委員会の開催（新規）

日本人のブラジル移住100周年を祝う日本ブラジル交流年記念事業を開催するにあたり、事業目的に賛同する機関・団体等の代表者または有識者で構成された実行委員会を開催し、記念事業についての検討、事業推進を図った。

時 期 第1回 平成19年11月に実施済み
第2回 平成20年4月11日（金）午後2時～3時半
第3回 平成20年7月17日（木）午後2時～3時半
会 場 豊田市役所

(5) 日本ブラジル交流年記念イベント（新規）

日本ブラジル交流年にあたり、100年前に日本人がブラジルへ渡り、それから80年後に2世、3世が再び日本へ戻ってきた背景と、様々な事情を学び、ブラジル文化と伝統を紹介する記念事業を日本人とブラジル人が協力して開催することにより、相互理解と友好を深め、豊田市が目指す多文化共生社会に貢献することを目的とし、記念イベント「ビバ！ブラジルデー！」を開催した。

時 期 平成20年6月14日（土）
会 場 豊田スタジアム
内 容 記念式典、「ハルとナツ」映写会、由紀さおりによるトークショーと歌、日本・ブラジルの文化紹介、交流に関するパネル展示、サッカー教室、飲食・物産展など
来場客数 約3万人
参加団体 80団体（内ブラジル29団体）

(6) T I A 設立20周年記念事業（新規）

T I A 設立20周年を記念し、記念式典及び4回連続の記念講演会を開催した。

ア 記念式典

時 期 平成20年11月14日（金）午後1時半～3時半
内 容 ①式典
②記念講演 「グローバル時代における日本の役割」
③記念パーティ
講 師 奥田 碩（トヨタ自動車株式会社取締役相談役、社団法人日本経済団体連合会名誉会長）
参 加 者 180人

イ 記念講演

① 第1回

時 期：平成20年9月30日（火）午後1時半～3時半

演 題：「ユーロ導入から10年—業績・課題・対外的側面」

講 師：エルヴェ・カレ

（欧州委員会・金融総局総局長付上級アドバイザー）

参加者：76人

② 第2回

時 期：平成20年10月21日（火）午後1時半～3時半

演 題：「難民支援を仕事として」

講 師：根本かおる

（特定非営利活動法人日本 UNHCR 協会事務局長）

参加者：166人

③ 第3回

時 期：平成20年10月31日（金）午後1時半～3時半

演 題：「辺境の食卓」

講 師：椎名 誠（作家）

参加者：217人

④ 第4回

時 期：平成20年11月27日（木）午後1時半～3時半

演 題：「雅楽の調べは国境を越えて」

講 師：東儀秀樹（雅楽師）

参加者：229人

（7）T I A ナショナルデー

とよたグローバルスクエアにおいて世界各国の文化や生活を紹介・披露するナショナルデーを開催し、在住外国人と市民との交流と相互理解の場を提供した。

時 期 平成20年6月1日～平成21年3月29日

毎週日曜日 午後2時～

内 容 全20回

延べ18か国の歌や踊りの披露、多文化体験、試食など

参加者 1,659人

（8）第19回世界少年野球大会（新規）

世界少年野球大会の開催にあたり、英語通訳の紹介とコーディネートを行った。

時 期 平成20年8月2日（土）

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳、交流、支援などを行うボランティア345人が登録し、多様な活動を展開した。また、緊急日本語講座や外国人求職者相談会には企業からのボランティアも多数参加いただいた。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人又はグループボランティアは、年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する方には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図った。

①個人ボランティア

通訳・翻訳

交流企画・推進ボランティア

業務サポート（機関誌発送作業など）

ホームステイ・ホームビジット

②グループボランティア

国際交流

オープンハート

日本文化紹介

国際協力

ほづみ会

在住外国人と交流・支援

E-IFF

ひらがなういずゆー

日本語サロン

Alpha日本語教室

学習・情報提供

海外生活体験者グループ

イ ボランティア代表者会議の開催

TIAとボランティアグループの事業や活動状況の情報を共有するとともに、ボランティア活動環境の整備に努めた。

時 期 平成20年4月20日（日）、12月7日（日） 計2回

参加者 各グループ代表者及び中堅層

ウ 日本語支援ボランティア養成講座

日本語学習を支援するボランティアのための養成講座を開催し、市内各地の教室で活動できる人材を養成した。

時 期 平成20年5月17日～7月12日 毎週土曜日 全8回

市内の日本語教室見学（8か所、延べ32人）

内 容 初めて日本語指導を学ぶ方のための基礎講座

参加資格 日本語支援活動に興味があり、講座終了後はボランティア活動のできる方

参加者 20人

エ 外国人雇用・生活相談会におけるボランティアコーディネート

市とハローワークが共催した失業者のための雇用・生活相談会への通訳派遣やボランティアによる外国語での案内等を行った。

時 期 平成20年12月19日～平成21年3月27日 全7回

通 訳 延べ8人

ボランティア 延べ28人（内、企業からの派遣9人）

(2) 外国人多言語相談事業

ア 休日ポルトガル語・中国語相談

ポルトガル語（土・日）、中国語（火午後・土午前）の体制で、在住外国人のための相談活動を実施した。

相談件数 12件（※簡単な相談は含まない。）

イ 外国人緊急相談

雇用状況の悪化に伴い急増している外国人からの相談に対応するため、ポルトガル語での相談窓口を平日にも設置し、関係機関窓口への仲介や情報提供を行った。

時 期 平成21年2月3日～3月13日

毎週火曜日～金曜日 午前10時～午後4時

相談件数 37件

(3) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、生命の危機など緊急性を要するケース、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに関するケースに対し通訳を派遣した。また、増加する企業やホテルなどからの依頼に対し、人権や急病など緊急のケースに限り有料で通訳を派遣するといった新たなシステムも導入した。

依頼件数 8件（病院1件、市3件、企業2件、県2件）

派遣回数 10回

言 語 英語2件、中国語3件、ポルトガル語4件、スペイン語1件

(4) 翻訳事業

市役所など公的機関に提出する公的書類についての翻訳を行うとともに、中国人住民への行政サービス等に関する翻訳業務を市から受託し実施した。

依頼件数 市：11件（中国語翻訳依頼）

一般市民・その他：8件（出生・結婚証明書の翻訳など）

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校に対して国際理解教育実施に関する情報提供等の支援を行った。（8件）

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内在住外国人が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るために、専門講師による日本語講座を実施した。

時 期	毎週土曜日 午前9時30分～正午 全20回
	前期：平成20年4月12日～9月20日
	後期：平成20年10月11日～平成21年3月14日
ク ラ ス	入門～初級レベルの4クラス
受 講 者	全163人（前期80人、後期83人）
	出身地：ブラジル、中国、韓国、タイ、ペルーなど

(2) 外国人求職者のための緊急日本語講座

世界的な経済不況により失職した外国人労働者を対象とした日本語講座を市・ハローワーク豊田・名古屋大学と共働で開催した。

時 期	2月コース：平成21年2月10日～3月3日 全10回
	3月コース：平成21年3月6日～3月27日 全10回
	いずれも火・木・金曜日 午前10時～午後2時半
ク ラ ス	入門～初級レベルの2クラス
受 講 者	全88人（入門49人、初級39人）
	出身地：ブラジル・ペルー・中国など
補助通訳者	2人（ブラジル出身者とペルー出身者）
ボランティア	108人（内、企業派遣ボランティア46人）

(3) 国際理解教育セミナー

日本ブラジル交流年にちなみ、様々な角度からブラジルを知る講座を実施した。

時 期	平成20年6月1日（日）、9月20日（土） 平成21年1月24日（土） 全3回
受 講 者	一般市民など延べ76人
内 容	第1回「遠い国から来た隣人～ブラジルってどんな国？～」 第2回「日系人のフルサト、支えるボランティアたち」 第3回「バイオエタノール先進国、ブラジル」

(4) 外国語講座

外国人住民や短期来訪外国人とのコミュニケーションを推進するため、多様な語学講座を開催した。平成20年度は夜間講座や、英語、イタリア語等の多言語・多文化講座も新たに開催した。

ア ハングル講座

時 期	前期：平成20年8月6日～11月26日
	毎週水曜日 午後2時～4時 全16回

後期：平成20年12月5日～平成21年3月27日
毎週金曜日 午後7時～8時半 全16回
受講者 前期16人、後期19人

イ 中国語講座

時 期 前期：平成20年9月5日～12月19日
毎週金曜日 午後7時～8時半 全16回
後期：平成21年1月8日～3月26日
毎週木曜日 午前10時～正午 全12回
受講者 前期21人、後期17人

ウ スペイン語講座

時 期 平成21年1月6日～3月31日
毎週火曜日 午後7時～9時 全12回
受講者 17人

エ 夜間外国語講座

①上海語

時 期 平成20年4月5日～6月28日
毎週土曜日 午後7時～8時半 全12回
受講者 8人

②スペイン語

時 期 平成20年6月6日～8月29日
毎週金曜日 午後7時～8時半 全12回
受講者 19人

③ポルトガル語

時 期 平成21年1月14日～3月25日
毎週水曜日 午後6時半～8時 全10回
受講者 18人

オ T I A多言語・多文化講座（新規）

①ホームステイボランティア英語

時 期 平成20年6月20日～7月11日
毎週金曜日 午後2時～4時 全4回
受講者 5人

②英語でディスカッション

時 期 平成20年10月4日～11月22日
毎週土曜日 午後2時～4時 全10回
受講者 11人

③旅のイタリア語

時 期 平成20年11月8日～29日
毎週土曜日 午後2時～4時 全4回
受講者 12人

(5) 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

大規模災害発生時、市の要請によって出動し、外国人被災者への通訳・翻訳といったことばの面からサポートが行える人材を確保し、支援に必要なスキルを高めるための講座を行った。

時 期 平成20年11月15日(土)、16日(日)

内 容 1日目

- 1) オリエンテーション (T I A)
 - 2) 市の災害の特徴 (市防災防犯課)
 - 3) 市在住外国人について、外国人被災者対応 (市国際課)
 - 4) 講演「新潟県中越沖地震での外国人被災者支援に学ぶ」
(財団法人柏崎地域国際化協会 清水由美子氏)
- [宿 題] 自宅での翻訳

2日目

- 1) 翻訳のフィードバックと想定される状況での通訳訓練
(多文化共生センター東京 田中阿貴氏)
- 2) 修了式、登録 (市担当職員・T I A職員)

受 講 者 15人 (外国人6人、日本人9人)

言 語 中国語2人、スペイン語2人、英語4人、インドネシア語1人、
ポルトガル語3人、ロシア語2人、日本語のみ1人

(6) 日本ブラジル交流年記念青少年育成プログラム「若者ブラジル探索の旅」(新規)

日本ブラジル交流年にあたり、ブラジルや日本人移民の歴史について理解を深め、幅広い視野と豊富な経験を持つ青年を育成することを目的に、ブラジルへのスタディーツアーを実施した。

時 期 平成20年8月31日～9月13日

参 加 者 9人

内 容 日本人移民ゆかりの地、歴史的な名所や施設の訪問、現地青年との交流、ホームステイなど

(7) 小学生国際理解教育学校招待プログラム(新規)

市内の小学生629人をとよたグローバルスクエアに招き、大学生を中心とした講師による国際理解教育を実施した。開催日、参加校などは次のとおり。

開催日	学校名	参加者	授業実施 グループ	実施授業内容
5月23日	中金	38	名古屋大学 EIUP	インドネシア、タイ、台湾 小学生の一日
6月5日	滝脇	19	名古屋大学 EIUP	韓国を知ろう！
7月4日	駒場	64	多文化共生サークル smile	世界の遊び (ミャンマー、ブラジル)
7月11日	中山	105	愛知県立大学	モンゴル文化に触れる
8月1日	追分	16	愛知県立大学	モンゴル文化に触れる
9月12日	小原中部	11	多文化共生サークル smile	世界の遊び (ブラジルなど)
9月26日	朝日	81	多文化共生サークル smile	世界の遊び (ミャンマー、ブラジル)
11月20日	東山	87	多文化共生サークル smile	世界の遊び (ミャンマー、ブラジル)
11月21日	巴ヶ丘	14	愛知淑徳大学	食べ物はどこから
11月28日	若園	124	名古屋大学 EIUP	中国について
12月5日	東保見	70	名古屋大学 EIUP	外国文化に触れ合おう
	合計	629		

4 情報収集・提供事業

(1) T I A機関誌発行业

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等のための機関誌「GLOBAL INFO」を発行。県・市町村の国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布。

発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）

規 格 A4サイズ 4頁

発行部数 3,000部／1回

(2) 国際理解教育ニュースレター発行业

国際理解教育の教材、セミナーの開催等の情報を、教育関係者を中心に提供。

発行回数 年3回

規 格 A4サイズ 2頁1枚

発行部数 2,500部／1回

(3) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

市の広報誌に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載した。

発行回数 24回（毎号掲載）
規 格 A4サイズ 1頁
発行部数 約152,000部／1回

(4) T I Aホームページの運営

世界的な経済状況の悪化に関連して、「不況に関する緊急情報コーナー」を開設。特にブラジル人向けの雇用・住居・生活に関する緊急情報をポルトガル語で可及的速やかに提供できるように運営。

「不況に関する緊急情報コーナー」

提供件数 37件（平成20年12月24日～平成21年3月31日）
アクセス数 3,049件（31件／日 同上期間）

(5) 多文化カレンダーの作成

外国籍市民との共生を促進するための「多文化カレンダー」を作成。平成20年度は国連加盟国192か国全ての記念日と国旗を掲載。

規 格 A2ポスター版
印刷部数 3,000部

5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、様々な支援を行った。

(1) とよた国際交流市民会議

時 期 平成20年6月27日（金）午後1時半～3時半
内 容 各団体の事業計画・報告、国際交流活動に関する情報交換

(2) 助成金事業

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力をテーマとした新規事業への支援を目的に実施。平成20年度は日本ブラジル交流年であったため、募集案内を2言語（ポルトガル語、日本語）で作成し、市民による記念イベントにも助成した。

時 期 1次募集 平成20年1月15日～2月15日
2次募集 平成20年6月1日～7月31日
内 容 国際交流・国際協力事業の募集・審査・助成金交付
申請件数 5団体
交付件数 4団体

- 事業名
- 1) 保見ヶ丘ラテンアメリカセンター
「ブラジル人学校児童・生徒によるブラジル移民100年記念
文集づくりと学習発表」
 - 2) F i e l J a p ã o
「サンバ教室の立ち上げ」
 - 3) L u z d e e s p e r a n ç a (希望の光)
「小学生フットサル大会」
 - 4) チーム／アレグレ・セッション
「ブラジル移住100周年記念フェスタ in 保見」

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組

地域の在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、さらには在住外国人がもたらす豊かな個性を生かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討、関係部署との連携に取り組んだ。

また、外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、多文化共生を内包した国際化の推進に努めた。

さらに、平成20年度より開始された「とよた日本語学習システム」(市より名古屋大学への委託事業)のシステムコーディネーターと協力しつつ、商工会議所を通じて企業における日本語教室の開催や地域の日本語教室へのサポートを随時行いながら、在住外国人に対する日本語学習の支援を行った。

(2) その他の調査・企画事業の取組

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を実施した。

7 とよたグローバルスクエア運営事業

国際交流や海外等に関する情報を提供するとともに、外国人への生活情報の提供や各種相談、交流とボランティア活動を行う市民活動の拠点として、とよたグローバルスクエアを運営した。

(1) ライブラリー、新聞・雑誌コーナーの運営

国際理解・協力、地域の国際化や、日本の歴史、文化、社会に関する知識や理解を深めるために必要な図書、雑誌、新聞、資料、ビデオ等の収集と提供を行った。

(2) インターネットPC、無線LANの設置

多言語で対応できるインターネット端末と無線LANを設置し、とよたグローバルスクエアを訪れる多くの市内在住外国人を含む市民への情報提供を行った。

(3) 掲示板など情報コーナーの充実

とよたグローバルスクエア内の掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとした。また、11月よりロビーに情報コーナーを拡張し多言語の情報・国際理解のイベント等の案内や市内観光の情報の収集、PRにも努めた。

8 その他 ボランティアグループなどの活動計画

TIAに所属する8つのボランティアグループ活動の事業に対し、相談と支援を行った。

(1) 国際交流

ア オープンハート

- ①各種ホームステイにおけるコーディネートを行った。

ウエイン州立大学 平成20年6月26日～7月3日

桜花学園大学留学生（韓国）平成20年11月15日～16日

- ②「タンザニアの風を感じて～ティンガティンガ体験とタンザニアのお話」

時 期 平成20年10月26日（日）午後2時～4時

内 容 タンザニアの文化紹介と現代絵画の体験を行った。

参加者 20人

イ 日本文化紹介

- ①豊田市来訪、在住・在勤の外国人に対し、日本文化を随時紹介
（茶道・書道・華道・着付・折紙等）

- ②日本文化体験デー

内 容 喜楽亭にて着付、折紙、習字、お花、お茶の体験を行った。

時 期 平成20年11月16日（日）

参加者 22人

- ③おこしものをつくろう

内 容 おひなさまのお供え物の“おこしもの”を作る講座を開講

時 期 平成21年3月1日（日）

参加者 15人

(2) 国際協力

ア ほづみ会

タイ山岳民族の子どもの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座を実施。

- ①「ビバ！ブラジルデー！」出展 平成20年6月14日（土）

- ②「TIAタイランド・デー」出演 平成21年1月18日（日）

- ③「タイランド講座2008」 平成21年1月18日（日）

内 容 タイ語教室、踊りの披露、お菓子とお茶の試食とバザー

参加者 70人

(3) 在住外国人との交流・支援

ア E-I F F

①英語サロンの開催

英語によるスピーチと質疑応答を行った。

時 期 平成20年5月10日(土)、7月5日(土)

9月21日(日)

平成21年1月31日(土)、3月14日(土)

②酒蔵ツアーの開催

外国人を対象とした英語ツアーを行った。

時 期 平成20年11月8日(土)、22日(土)、23日(日)

③20周年記念行事

活動開始より20周年を迎え、お世話になった方々をとよたグローバルスクエアに招き、尺八の演奏、活動の歴史の振り返り、交流会を行った。

時 期 平成21年3月8日(日)

④その他

内部研修や英語の勉強会、海外からの来訪者に対する通訳、翻訳など依頼に応じ随時行った。

イ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語(ポルトガル語・英語)表記も含め、提供した。年3回発行。発行部数は各回1,100部。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布。

ウ 日本語サロン

在住外国人の日本語学習支援と子育て支援活動を実施した。

子育て情報誌「のびのび子育て」(5か国語版)の改訂版作成。

前期:平成20年4月~9月

学習者93人、託児受入14人

後期:平成20年10月~平成21年3月

学習者111人、託児受入14人

エ A l p h a 日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業(もちつき、郊外学習)を実施した。

時 期:5月~8月、9月~12月、1月~4月の計3期

受講者数:5月199人、9月207人、1月174人

(4) 学習・情報提供

海外生活体験者グループ

海外生活サロン（海外の日本人学校の情報を共有する会）

第1回：「家族4人での中東生活」

平成21年2月15日（日）午後2時～4時

講師：山内光氏（元サウジアラビア王国ジッダ日本人学校教諭）

参加人数：20人

第2回：「上海と日本人学校の子ども達」

平成21年2月28日（土）午後2時～4時

講師：小川雅美氏（元上海日本人学校教諭）

参加人数：15人

(5) T I A 自主サークル

ハンガール・スペイン語・ポルトガル語の6つの自主サークルに加え、平成20年度は「中文班（日本人への中国語学習と中国児童の母語保持を主目的とした交流型のサークル）」と、日本語自主サークル「はじめのいっぽ」の2つの新たな自主グループが加わり活動を開始した。